

近藤聡乃

1980 千葉県生まれ

2003 多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業

2008- ニューヨーク在住

主な個展

2023 「ニューヨークで考え中」 ミヅマアートギャラリー／東京

2019 「近藤聡乃展 呼ばれたことのない名前」 三菱地所アルティアム／福岡

2018 「MAM SCREEN 008: 近藤聡乃」 森美術館／東京

2013 「KiyaKiya 1/15 秒」 ミヅマアートギャラリー／東京

「KiyaKiya アニメーション原画展」 六本木ヒルズ A/D ギャラリー／東京

「KiyaKiya 1/15 秒」 galleri s.e／ベルゲン、ノルウェー

2011 「KiyaKiya」 ミヅマアートギャラリー／東京

2008 「果肉」 ミヅマアートギャラリー／東京

2007 「hint」 Tache-Levy Gallery／ブリュッセル、ベルギー

2006 「てんとう虫のおとむらい」 ミヅマアートギャラリー／東京

2004 「近藤聡乃展」 トランスポップギャラリー／京都

2003 「近藤聡乃展」 ギャラリーエス／東京

主なグループ展

2024 「Beauties, Ghosts and Samurai」 National Gallery of Art／ヴィリニウス、リトアニア

2022 「ドマーニ明日展 2022-23 百年前から百年後へ」 国立新美術館／東京

「ブルーピリオド展～アートって、才能か?～」 寺田倉庫 G1 ビル／東京

2020 「Uninterrupted Wander— 不断の彷徨」 ミヅマアートギャラリー／東京

2019 「Annecy 2019 - Tribute to Japanese Animation -」

Annecy International Animated Film Festival and Market (Mifa)／アヌシー、フランス

2017 「tricky women 2017」 BildRaum07／ウィーン、オーストリア

「Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime」 Kresge Foundation Gallery、Ramapo College of New Jersey

／ニュージャージー、アメリカ

2016 「Rewind: Selections from the Harold and Ruth Newman New Media Collection」 アジアソサエティ

／ニューヨーク、アメリカ

「ポーラミュージアムアネックス展 2016-イメージと人体-」 ポーラミュージアム アネックス／東京

2015 「Fermented Souls」 KATESHIN Gallery／ニューヨーク、アメリカ

「Further towards the future」 Mizuma Gallery、シンガポール

「Unveiling Fundamentals in Contemporary Art Through Asia」 OHD museum／マゼラン、インド

ネシア

「Toutes uniques, toutes identiques: Accumulations, répétitions, proliférations dans l'art

contemporain」 Espace Sarah Bernhardt／グッサンヴィル、Le Musée Alfred Canal／ボン・オード

ゥメール、フランスへ巡回

- 2014 「IMFACTS!・勢み」、Zane Bennett Contemporary Art/サンタフェ、アメリカ
 「ゴー・ビトゥーンズ：こどもを通して見る世界展」
 森美術館/東京、名古屋美術館/愛知、沖縄県立博物館・美術館へ巡回
 「タマグラアニメとマンガ博」アキバタマビ 21/東京
- 2013 「The Garden of Forking Paths: Exploring Independent Animation」OCAT, OCT
 Contemporary Art Terminal Shanghai /上海、中国
- 2012 「ジパング展－沸騰する日本の現代アート」
 新潟県立万代島美術館/新潟、秋田県立近代美術館/秋田へ巡回
 「Planete Manga! (at Studio 13/16)」Centre Pompidou/パリ、フランス
- 2011 「East West Connect」 Above Second Gallery/香港
 「ジャラパゴス展」三菱地所アルティウム/福岡
 「ジパングー 3 1 人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。」
 日本橋高島屋 8 階ホール/東京、他 2 会場へ巡回
- 2010 「DOMANI・明日展 2010」国立新美術館/東京
 「ジャラパゴス展 (Tokyo Designer'sweek)」明治神宮外苑/東京
 「YouTube Play: Biennale of Creative Video」グッゲンハイム美術館/ニューヨーク、アメリカ
 「Make Believe」The Harold B. Lemmerman Gallery, New Jersey City University/ジャージーシテ
 ー、アメリカ
 「Dazzled and Enchanted－New Age Animamix」広東美術館/広州、中国
- 2009 「Enliven－In Between Realities and Fiction－Animamix Biennial 2009-2010」今日美術館/
 北京、中国
 「November Steps」ミヅマアートギャラリー/東京
- 2008 「反主流」三瀕画廊/北京、中国
 「KITA!－Japanese artists meet Indonesia」ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドゥン、
 インドネシア
 「VIDEOFORMES 2008」クレルモン・フェラン、フランス
 「Eyes & Curiosity, Taiwan version」Soka Art Center/台北、台湾
- 2007 「3L4D－3rd Life 4th Dimension」National Dr. Sun Yat-sen Memorial Hall/台北、台湾
 「How to cook DOCOMODAKE ?」201 Mulberry St. /ニューヨーク、アメリカ、
 NTT インターコミュニケーション・センター (ICC) /東京へ巡回
 「Pocheon Asia Biennale 2007－Encounter with Contemporary Asian Art」
 Pocheon Banweol Art Hall /抱川、韓国
 「Contemporary Outlook: Japan」Museum of Fine Arts, Boston/ボストン、アメリカ
 「International Contemporary Art from the Harn Museum Collection」Harn Museum of Art
 /ゲーンズビル、アメリカ
 「Get It Louder 2007」広州、上海、北京、中国
 「Thermocline of Art－New Asian Waves」ZKM/カールスルーエ、ドイツ

- 「CORPO SOCIALE」 Galleria PACK／ミラノ、イタリア
 「Festival EXIT」 Maison des Arts de Creteil /クレテイユ、フランス
 「No American Talent II, Dark Matter : New Work from Japan」 Okay Mountain
 /テキサス、アメリカ
- 2006 「Eyes and Curiosity from Tokyo」 Chelouche Gallery /テルアビブ、イスラエル
 「videotheque」 Site Gallery /シェフィールド、イギリス
 「Fiction@Love」 上海現代美術館 /上海、中国
- 2005 「スイスコミックアート展」 川崎市市民ミュージアム /神奈川
 「Spoltore Ensemble 2005—The Evening Traveling: Animations, Dreams and Visions from
 Contemporary Japan」 ペスカーラ、イタリア
 「Paradiso d'Amore—Neo-Aesthetics of Animamic Age」 Hangzhou Peace International Exhibition
 and Conference Center /杭州、中国、Beijing World Art Museum /北京、中国へ巡回
 「Psionic Distortion」 Plum Blossoms Gallery /ニューヨーク、アメリカ
 「Since 1994—ミヅマアートギャラリー10周年記念展」 ミヅマアートギャラリー /東京
 「Aランチ」 アクシスギャラリー /東京
- 2004 「Psionic Distortion」 Super Deluxe /東京
 「Tokyo Style」 Milliken Gallery /ストックホルム、スウェーデン
 「日本四景」 ギャラリーエス /東京
 「Girls & Guns」 The Proposition /ニューヨーク、アメリカ
 「Blind Pilots」 The Proposition /ニューヨーク、アメリカ
 「オトメ会議」 ギャラリーエス /東京

主なスクリーニング:

- 2020 「CERNUSCHI ART VIDÉO #4: NATURA NATURATA」 セルヌスキ美術館、パリ、フランス
- 2019 「JAPONOHARA」 la sellerie du parc du haras /アヌシー、フランス
 アヌシー国際アニメーション映画祭「NEW MOTION—the Next of Japanese Animation-」 アヌシー、
 フランス
 「World Festival of Animated Film- ANIMAFEST Zagreb」 ザグレブ、クロアチア
- 2017 「Award-winning Program 2017」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「tenacious, gracious—し
 なやかに、したたかに—」 A4 Art Museum /成都、中国
 「FILE 2017- Electronic Language International Festival」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム
 「tenacious, gracious—しなやかに、したたかに—」) ブラジル
- 2016 「文化庁メディア芸術祭新潟展」 COZMIX ビル /新潟
 「文化庁メディア芸術祭 20 周年企画展『変える力』」 UDX THEATER /東京
 「アテネ・デジタル・アーツ・フェスティバル 2016」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN
 POP ENERGY」) Building Complex Gate Ermou /アテネ、ギリシャ
- 2015 「勝山映像フェスティバル 勝山アニメーション・ショウケース vol.1」 岡山
 「ソウル国際マンガ・アニメーションフェスティバル」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN

- POP ENERGY) ソウル、韓国
「ICAF2015」 国立美術館／東京、シネモンド／金沢
2014 「Bradford Animation Festival」 National Media Museum／ブラッドフォード、イギリス
「FANTOCHE」 バーデン、スイス
2013 「第16回文化庁メディア芸術祭」 国立新美術館/東京
2012 「第9回日本映画祭 映画とアニメーションの万華鏡」 釜山、韓国
「Japan Touch」 リヨン、フランス
「TOKYO ANIMA!秋」 国立新美術館/東京
「TOKYO ANIMA!春」 国立新美術館/東京
「Nippon Connection」 Japanese Film Festival/ フランクフルト、ドイツ
2011 「Adelaide Festival」 アデレード、オーストラリア
札幌ビエンナーレ・プレ企画内「現代アニメーション総進撃！」 北海道立近代美術館講堂
2010 「Ottawa International Animation Festival」 オタワ、カナダ
「SICAF (Seoul International Cartoon & Animation Festival)」 ソウル、韓国
「Shinsedai Cinema Festival 2010」 トロント、カナダ
「The 4th International Digital Moving Image Festival」 Korean Film Archive/ ソウル、韓国
「PLASTIC PAPER: WINNIPEG'S FESTIVAL OF ANIMATION, ILLUSTRATION & PUPPET FILM」 ウィニペグ、カナダ
「TOKYO_ANIMA!」 国立新美術館/東京
2009 「New Nippon: Contemporary Film & Video from Japan」 Gene Siskel Film Center／シカゴ、アメリカ
「Shinsedai Cinema Festival」 トロント、カナダ
「Film Fort, Function 13 Gallery」 トロント、カナダ

主な受賞歴

- 2012 アニメーション「KiyaKiya」
・平成24年度[第16回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門審査委員会推薦作品
2010 アニメーション「てんとう虫のおとむらい」ダイジェスト版
・「YouTube Play: Biennale of Creative Video」、TOP 25 videos
2003 マンガ「つめきり物語」
・平成15年度[第7回] 文化庁メディア芸術祭/ マンガ部門審査委員会推薦作品
2002 アニメーション「電車かもしれない」
・平成14年度[第6回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門/ 奨励賞
・DIGISTA AWARDS 2002 アニメーション部門賞
・第3回 ユーリ・ノルシュテイン大賞/ 観客賞
立体作品「はこにわ虫」
・GEISAI1-GP/ 草間彌生賞
2000 マンガ「小林加代子」

- ・ 第2回アックス新人賞/ 奨励賞

ミュージアムコレクション：

Asia Society、ニューヨーク、アメリカ
川崎市市民ミュージアム、神奈川
森美術館、東京

出版物

- 2020 『A 子さんの恋人』全7巻 (KADOKAWA)
『ニューヨークで考え中』1～4巻(以下続巻) (亜紀書房)
『A 코 씨의 연인』全7巻 (미우)
- 2019 新版『近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』(ナナロク社)
- 2018 『Chroniques new-yorkaises Volume 2』(Le Lezard Noir)
『il mondo degli insetti』(Coconino Press)
- 2016 『Chroniques new-yorkaises Volume 1』(Le Lezard Noir)
- 2014 『Nothing Whatsoever All Out in the Open』(Retrofit / Big Planet Comics)
- 2013 『KiyaKiya-アニメーション原画集』(ナナロク社)
- 2013 『近藤聡乃作品集』(ナナロク社)
- 2012 『うさぎのヨシオ』(エンターブレイン)
- 2012 『近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』(ナナロク社)
- 2011 『近藤聡乃スケッチ集 KiyaKiya』(ナナロク社)
- 2009 『Les insects en moi』(Le Lezard Noir)
- 2008 『いつものはなし』(青林工藝舎)
- 2006 『EIKO』(Le Lezard Noir)
- 2004 『はこにわ虫』(青林工藝舎)